

「鳥飼地域における学校の適正規模・適正配置計画案」のパブリックコメント（意見公募）結果に対する教育委員会の見解

摂津市教育委員会事務局  
教育総務部 教育政策課

■パブリックコメント募集期間・・・令和5年10月2日～10月31日

■パブリックコメント受理件数・・・16件

この度は、「鳥飼地域における学校の適正規模・適正配置計画案」のパブリックコメントの募集（意見公募）しましたところ、16件のご意見をいただきました。本当にありがとうございました。

皆様から寄せられましたご意見を集約し、次のとおり教育委員会の見解を付して公表いたします。

「計画の変更等」の凡例 ○：ご意見を踏まえ、計画を一部修正するもの

空白：考え方が盛り込み済みのもの又は今後の参考とするもの

No.	意見の内容	教育委員会の見解	計画の変更等
1	単学級・少人数の学校だからこそ、子どもたち同士や子どもたちと先生、地域の人々と深いつながりを持つことができ、豊かな人間関係を形成する学びにつながります。学校統廃合の理由として、「児童数の減少」や「単学級の増加」、「小規模校化」は当てはまりません。小規模校のメリットを生かす教育活動を実施するための支援こそ、摂津市教育委員会が本気でやるべきことです。鳥飼東小学校を廃止して鳥飼小学校に統合しないでください。	小規模校におけるメリット・デメリットについて、令和4年に諮問いたしました「摂津市立小中学校通学区域等審議会」において議論いただき、当該校につきましては課題が多いとのご意見をいただいております。教育委員会としましては、審議会の答申や保護者アンケート、学校現場からの意見等を踏まえ、鳥飼小学校と鳥飼東小学校を統合することが適当であると考えております。	
2	鳥飼地域の児童数の減少は、摂津市行政の都市計画の失敗によるものです。 <u>①学校がなくなれば、登下校の距離が長くなり、より時間もかかることで登下校中の事故の危険性が増し、放課後の自由な時間が減少し、子どもたちの生活条件が悪化します。</u> 鳥飼東小学校を無くすことによる教育条件の悪化に加え、生活条件の悪化という形で、子どもたちに都市計画の失敗のつけを払わせないでほしい。 <u>②学校をなくすことは、地域の活性化を目指す「鳥飼まちづくりグランドデザイン」の理念と逆行しています。</u>	①鳥飼東小学校を鳥飼小学校に統合したことにより、通学距離が長距離となる児童に対してはスクールバス等の通学支援に取り組んでまいりたいと考えております。 ②鳥飼まちづくりグランドデザインでは、教育環境に係る課題解決に向けた取組の方向性の一つとして「学校規模及び配置の適正化を図ります」を挙げており、これに基づき計画を進めております。	
3	旧味舌小学校統廃合から何年になるでしょうか？この間、摂津小のマンモス化や様々な問題が出てきています。そのことを教訓にしなければなりません。 鳥飼東小は鳥飼小、鳥西小に続き、北小そして東小学校と建設されたのですが、その時の都市計画の構想はどうだったのでしょうか？ <u>①鳥東を鳥小に統合すれば何よりも通学路が遠くなりすぎますし、②これまでにつくりあげた地域コミュニティを壊すものであり、反対です。③せつかくある学校施設を生かし、少人数学級や防災拠点として、もっと発想を変えて生かしてほしいです。鳥東小をこれからの摂津の教育モデル校になるように特色のある学校づくりに知恵を注入していただきたい。</u>	①鳥飼東小学校を鳥飼小学校に統合したことにより、通学距離が長距離となる児童に対してはスクールバス等の通学支援に取り組んでまいりたいと考えております。 ②地域コミュニティの中で学校が果たしてきた役割を基に、統合後の地域コミュニティへのサポートや鳥飼東小学校跡地活用等については、関係部署と連携し、市全体で協議してまいります。 ③小規模校における課題や保護者アンケート、学校現場からの意見等を踏まえ、鳥飼小学校と鳥飼東小学校を統合することが適当であるとと考えております。	

No.	意見の内容	教育委員会の見解	計画の変更等
4	<p>そもそも統廃合を考える以前に東小学校校区、鳥飼小校区ひいては鳥飼地域の子供の減少はこの数十年の生活環境の悪化、改善が見られない為に起こるべくして起こった事で、それは摂津市行政の都市計画の失敗に起因することで、地域やましては子供達にその責任を負わせるかのように学校の統廃合を押し付けるのは間違っている事を指摘したい。</p> <p>現状と数年後の両校の児童数の推移を見ると合併、統廃合止む無しと思える部分もあるが特に東小校区に於いては小学校が廃校になる事により、地域に与えるマイナスの影響が大きすぎ今以上に住みにくい町になってしまう可能性大である。①<u>地域のコミュニティをどうするのかの具体的な事が計画案には書かれていない。</u>ここにも教育委員会の無責任さが見て取れる。②<u>学校の統廃合だけで終わらせるのではなく対象地域の社会的、経済的、環境的な部分にまでその責任を負う事を思い、市行政で取り組む「鳥飼地域ランドデザイン」に教育委員会も積極的に関与して頂く事を熱望する。</u></p> <p>③<u>また、統廃合を進めるに当たって低学年の子供たちが夏の炎天下の中、また冬の夕闇迫る中、一時間近くかけ下校する事を考えると単に「交通専従員」の配置だけで子供たちを守れるとも思えない。地域のボランティアに頼る考えだけではなく、行政として、通学バスの運行などの支援策は当然である。</u></p> <p>④<u>東小は地域の重要な拠点です。廃校になってもその跡地は地域コミュニティの拠点、防災の拠点、子育ての拠点、また子供の居場所とし活用する。教育委員会はそこまで責任を持って遂行して欲しい。</u></p>	<p>①本計画案作成の過程において、市関係部署との情報共有は並行して進めております。地域コミュニティの中で学校が果たしてきた役割を基に、統廃後の地域コミュニティへのサポートや鳥飼東小学校跡地活用等については、関係部署と連携し、市全体で協議してまいります。</p> <p>②鳥飼まちづくりランドデザインでは、教育環境に係る課題解決に向けた取組の方向性の一つとして「学校規模及び配置の適正化を図ります」を挙げており、これに基づき計画を進めております。引き続き、鳥飼まちづくりランドデザインの関係部署と連携し取り組んでまいります。</p> <p>③鳥飼東小学校を鳥飼小学校に統合したことにより、通学距離が長距離となる児童に対してはスクールバス等の通学支援に取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>④地域コミュニティ・防災・子育て等、これまで果たしてきた学校の役割を踏まえ、関係部署と連携し、鳥飼東小学校跡地活用について市全体で協議を進めてまいります。</p>	
5	<p>鳥飼地域における学校適正規模・適正配置計画案について、パブコメの募集に応じて、意見を述べます。</p> <p>二つの小学校を統廃合しても、鳥飼地域の活性化につながるどころか、反対にさらに地域の魅力が少なくなり、人口も減るのではないかと危惧します。統廃合は問題の根本解決にはなりません。今まで市が、この地域のまちづくりを本気で行ってこなかったことが問題の原因であり、子どもたちにその結果を押し付け、犠牲を強いるのは間違っていると思います。「鳥飼まちづくりランドデザイン」と仮にも「まちづくり」を行うことを掲げているならば、今こそ本気のまちづくりをして、この地域の人口・子育て人口を増やす努力をすべきです。そのためには、鳥飼は中小業者のまちなので、思い切った中小業者支援策をうち、鳥飼で商売・子育てをしてもらえるようにすべきです。小学校の統廃合には賛同できません。</p>	<p>鳥飼まちづくりランドデザインでは、教育環境に係る課題解決に向けた取組の方向性の一つとして「学校規模及び配置の適正化を図ります」を挙げており、これに基づき計画を進めております。小規模校におけるメリット・デメリットについて、令和4年に諮問いたしました「摂津市立小中学校通学区域等審議会」において議論いただき、当該校につきましては課題が多いとのご意見をいただいております。教育委員会といたしましては、審議会の答申や保護者アンケート、学校現場からの意見等を踏まえ、鳥飼小学校と鳥飼東小学校を統合することが適当であると考えております。当該地域の活性化に向けては、引き続き、鳥飼まちづくりランドデザインの関係部署と連携し取り組んでまいります。</p>	
6	<p>①<u>鳥小と東小が合併した場合、先生の数は減らさないでほしい。</u>  <u>今よりも人数が増えるだけで学級数が変わらない学年もある。そこへは柔軟な対応で職員を配置してほしい。特別支援学級籍に在籍があり、クラスが分けられない場合も、支援学級に行っていない時間はクラスで大人数の子どもがいる状態。そこで子どもが授業に付いていけなくなるよう、職員を配置してください。</u>  <u>学級数が増えたとしても、新しい環境に慣れていない子ども達のケアとして、先生を増やすなどの対応をお願いします。</u></p> <p>②<u>東小は地域コミュニティの場として公立で活用していただけると人が集まりやすく、私も活用したいなあと思います。</u></p>	<p>①教員の配置人数は、法律により学校のクラス数に応じて決められますが、教育活動支援員等の支援人材の配置も含め、児童への適切な支援を行ってまいります。</p> <p>②地域コミュニティ・防災・子育て等、これまで果たしてきた学校の役割を踏まえ、関係部署と連携し、鳥飼東小学校跡地活用について市全体で協議を進めてまいります。</p>	
7	<p>鳥飼東小学校をなくさないで下さい  まだ子どもたちがたくさんいるのに、その子達を遠くの鳥飼小学校まで通わせるのはとても無謀だと思います  どうやって歩いてそんな遠くの鳥飼小学校まで通わせるんですか？  冬の時期はすぐに暗くなるし、遠くの学校は危険だと思いますが  このままで、いいと思っています  統合だけは勘弁してください</p>	<p>鳥飼東小学校を鳥飼小学校に統合したことにより、通学距離が長距離となる児童に対してはスクールバス等の通学支援に取り組んでまいりたいと考えております。</p>	
8	<p>鳥飼地域の児童数の減少は摂津市行政の都市計画の失敗で、それを統廃合という形で押し付けしないで下さい。児童数減少を知りつつ、何も対策をされてこなかったこと、統廃合以外でして下さい。  統廃合でメリットはありません。</p> <p>①<u>防災拠点など地域のコミュニティが失われます。</u>  ②<u>保護者からは登下校の安全がなくなるという声が上がれば、バスの運行をされるのですか？そうすると、余分な予算が嵩むと思います。</u>  ③<u>今のままで、学級人数を1学級を15人とかにして少人数学級をすれば、もっと一人一人に目がゆき届き、良い教育ができると思います。摂津市独自の教育方法をしてはどうでしょうか？統廃合は反対です。</u></p>	<p>①地域コミュニティ・防災・子育て等、これまで果たしてきた学校の役割を踏まえ、関係部署と連携し、鳥飼東小学校跡地活用について市全体で協議を進めてまいります。</p> <p>②鳥飼東小学校を鳥飼小学校に統合したことにより、通学距離が長距離となる児童に対してはスクールバス等の通学支援に取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>③教育活動支援員等の配置も含め、適切な支援を行うとともに、文部科学省から示されている特例制度も研究し特色のある教育をめざしてまいります。</p>	

No.	意見の内容	教育委員会の見解	計画の変更等
9	<p>・東小統廃合について初めに言いたいことはまず市側が市民に理解を得る気がないということが伺えます。国が抱える少子化、東地区の児童の減少など正直、致し方ないと感じる部分もありますが23年10月10日発行「鳥飼地域の学校統廃合を考える会 ニュース」にも記載されているように行政の都市計画の失敗を市民、延いては子供に押し付けていると感じます。</p> <p>要因として説明会での担当者、教育委員会の態度（ふんぞり返るような振る舞い）、こちらの意見を一切受け付けない形の説明会などです。</p> <p>・上記のように統廃合について仕方ないと思う気持ちもありますが、今回はずれを引く東小地区児童に対するフォローもないとは如何なものでしょうか？</p> <p>①鳥飼小への通学について、距離や道路事情などからの通学の危険の増加が懸念されるのですが、そこに対する意見も行政側の都合で検討すらするつもりがなさそうですが、多く上がる意見の「スクールバス導入」について行政は予算などを掲げ難いと言っていますが、東小の運営予算は廃校後、どのような運用があるのでしょうか？</p> <p>スクールバス運用コストを懸念されるのであれば東小の今後の運営予算とバスの運用コストのそれぞれを比較した採算表を提示していただきたいものです。学校運営の人員費、電気代等々のエネルギー代、設備維持費、その他コストとバスの年間維持費、燃料費、人員費を比較した場合、はたしてバスの運用は厳しいのでしょうか？</p> <p>・②コミュニティ、防災拠点として東小を廃校した場合のリスクについてはどうでしょうか？</p> <p>摂津市は淀川を初めとした多くの河川に囲まれています。そんな地域に住むほうが悪いと考えておられるのであれば行政の底も知れますがそういった防災も脆弱な地域に今後入る人はいるのでしょうか？</p> <p>・東小を存続する場合の懸念として教員等の人員問題や統合のメリットなどそちらの都合ばかり説明され、貧乏くじを引く市民のことは考えられておられないようですが、公務員は憲法で「全体の奉仕者」を定義されているはずで、③全ての市民の平等かつ公平な行政サービスという意義が今回の統廃合には存在しているのでしょうか？行政側の都合ばかりの計画 貧乏くじ市民の「せめてこれはできないかの意見」を聞く耳も持たない行政 我々は何のため、誰のために税金を払うのでしょうか？</p> <p>まだまだ言いたいことはありますが、そちらから「回答がある」とのことですので、ここで意見を一度終えますが言いたいことは「市民の意見をくみ取る、意見に真摯に耳を傾ける」というある種公務員延いては行政の基本を今一度見直し、お互いの落としどころを決めるように進めていただきたいと思います。</p>	<p>①鳥飼東小学校を鳥飼小学校に統合したことにより、通学距離が長距離となる児童に対してはスクールバス等の通学支援に取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>②地域コミュニティ・防災・子育て等、これまで果たしてきた学校の役割を踏まえ、関係部署と連携し、鳥飼東小学校跡地活用について市全体で協議を進めてまいります。</p> <p>③小規模校におけるメリット・デメリットについて、令和4年に諮問いたしました「摂津市立小中学校通学区域等審議会」において議論いただき、当該校につきましては審議会の答申や保護者アンケート、学校現場からの意見等を踏まえ、鳥飼小学校と鳥飼東小学校を統合することが適当であると考えております。</p>	
10	<p>●①本計画は、地域の活性化をめざす「鳥飼まちづくりグランドデザイン」と逆行していません。学校をなくせば、そこに若い世代の転入は見込めません。実際、東小校区に最近越してきて「知っていたら引越してこなかった」と話す未就学児の保護者もおられます。</p> <p>●②今ある学校は存続する工夫をしてほしい。子どもが減ったら廃校というのは、あまりに短絡的。摂津市のまちづくりの様子から想像すると人口の南北差は広がる一方なので、遠くない将来、鳥飼に学校は1つでいいということになりそう。</p> <p>●③残すための方策を地域も巻き込み考えるべきところ、住民に「統廃合しかないのか」「統廃合も仕方ないのか」と思わせる資料ばかり並んだ計画案だという印象です。「知らなかった」という住民の方もおられ、全戸にポストイングするなど、本当に周知につとめたのかも疑問である。アンケート調査問10の選択肢の4分の3が「適正配置を行う」ことが前提となっているのも、変。</p> <p>●児童数の南北差は、摂津市の都市計画の失敗です。④近くの学校がなくなれば登下校の時間も危険もふえ、子どもたちは少なからず悪影響を受けます。都市計画の失敗のつけを子どもに払わせないでほしい。千里丘西口開発が進む一方で、鳥飼地域は学校廃止、小中も統合とは、鳥飼地域の住民としては腹立たしい。鳥飼地域の若い世帯の千里丘地域への流出が起り、さらに南北差に拍車をかけ失敗を広げる可能性もあるのでは。</p> <p>●⑤人材配置や施設改修は、計画とは無関係に行うべきで、統合に絡めた記述はしないでほしい。統合したらこんなことありますよと、鉛をぶら下げられたような気がしました。</p> <p>もしも統廃合が行われたとして、</p> <p>●⑥特色ある学校づくりは、落ち着いてから考えてください。この計画に載せるべきは、混乱した統廃合後の学校をいかにすみやかに落ち着かせるかであり、先生や子どもたちの多忙化につながり混乱を深める新事業ではありません。</p> <p>●⑦廃校となった跡地は、地域で有効に活用できる公共の場としてください。</p>	<p>①鳥飼まちづくりグランドデザインでは、教育環境に係る課題解決に向けた取組の方向性の一つとして「学校規模及び配置の適正化を図ります」を挙げており、これに基づき計画を進めております。引き続き、鳥飼まちづくりグランドデザインの関係部署と連携し取り組んでまいります。</p> <p>②小規模校におけるメリット・デメリットについて、令和4年に諮問いたしました「摂津市立小中学校通学区域等審議会」において議論いただき、当該校につきましては課題が多いのご意見をいただいております。教育委員会といたしましては、審議会の答申や保護者アンケート、学校現場からの意見等を踏まえ、鳥飼小学校と鳥飼東小学校を統合することが適当であると考えております。</p> <p>③令和4年に諮問いたしました「摂津市立小中学校通学区域等審議会」では、適正規模・適正配置に向けフラットな形でご意見等をいただける工夫をしてまいりました。また、令和4年度・5年度に実施いたしました説明会では、複数日程を設定するとともに、広報紙やHP等で周知に努めてまいりました。さらに、就学前・就学児童の保護者や自治会、青少年指導員の皆様には各カテゴリー毎に説明会を実施してまいりました。今後とも関係者の皆様への適宜周知に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>④鳥飼東小学校を鳥飼小学校に統合したことにより、通学距離が長距離となる児童に対してはスクールバス等の通学支援に取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>⑤統合に際し、教育委員会所管の必要な取組につきましては記載させていただいております。</p> <p>⑥教育活動支援員等の配置も含め、適切な支援を行うとともに、文部科学省から示されている特例制度も研究し特色のある教育をめざしてまいります。</p> <p>⑦地域コミュニティ・防災・子育て等、これまで果たしてきた学校の役割を踏まえ、関係部署と鳥飼東小学校跡地活用について協議を進めてまいります。</p>	

No.	意見の内容	教育委員会の見解	計画の変更等
11	<p>①鳥飼東小がなくなることは子供たちにとって通学路が遠くなり、安心してかよえなくなります。事故・事件の多いこのごろ父母の心配は増すばかりです。身近な学校は無くさないで下さい。</p> <p>②居住地の近くに学校があると防災のめんでも安心できます。</p> <p>③鳥飼のまちづくりグランドデザインとの理念と反すると思います。</p>	<p>①鳥飼東小学校を鳥飼小学校に統合したことにより、通学距離が長距離となる児童に対してはスクールバス等の通学支援に取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>②地域コミュニティ・防災・子育て等、これまで果たしてきた学校の役割を踏まえ、関係部署と連携し、鳥飼東小学校跡地活用について市全体で協議を進めてまいります。</p> <p>③鳥飼まちづくりグランドデザインでは、教育環境に係る課題解決に向けた取組の方向性の一つとして「学校規模及び配置の適正化を図ります」を挙げており、これに基づき計画を進めております。引き続き、鳥飼まちづくりグランドデザインの関係部署と連携し取り組んでまいります。</p>	
12	<p>子供たちが通学する距離が遠くなるのがとても心配です。大きな道路を小学生がいくつも渡ることを考えると大変怖いです。身近な小学校の存続を希望します。</p>	<p>・鳥飼東小学校を鳥飼小学校に統合したことにより、通学距離が長距離となる児童に対してはスクールバス等の通学支援に取り組んでまいりたいと考えております。また、小規模校におけるメリット・デメリットについて、令和4年に諮問いたしました「摂津市立小中学校通学区域等審議会」において議論いただき、当該校につきましては課題が多いとのご意見をいただいております。教育委員会といたしましては、審議会の答申や保護者アンケート、学校現場からの意見等を踏まえ、鳥飼小学校と鳥飼東小学校を統合することが適当であると考えております。</p>	
13	<p>摂津市は旧味舌小学校、三宅小学校の廃止を住民の意見を十分に聞くことなく廃校を強行した歴史を持っています。私たちが当時街づくりについて長期的・合理的な計画をと主張しましたが、今マンション建設などで人口が増加し、やはり学校がもっと必要になっていると思います。</p> <p>①鳥飼地域は街づくりそのものが企業や流通が中心になっており、企業やトラックターミナル、工場間に住民が暮らすという街づくりにおいては計画性がなく、住みにくい地域となっているため、住民の数が減少し、長期的な街づくりが考えられて来たとはとても思えません。その結果を廃校という形で子どもたちに押し付けるのは行政としてははずかしい事ではないでしょうか？②小学校の低学年の生徒が大きい車の多い道をいくつもわたって通学するのは保護者にとっては本当に心配なことではないでしょうか。秋、冬のくらくらした道を渡って帰ってくるのはとても危険です。働く父母がふえている中、学童保育が必要ですが車の多いくらい道の横断は心配です。摂津市は子どもの目線でもう一度計画を見直してほしいと思います。</p> <p>③学校の先生を増やして下さい。①住民が住んでよかったと思える街づくりに力を入れて下さい。鳥飼地域の人口が減ってゆくの魅力ある街ではないからなのではないでしょうか。住民本位の目線で街づくりをもう一度考えて鳥飼に住んでよかったという街になるよう、街づくりの計画をすすめて下さい。学校がなくなればますます地域がさびれてゆくとします。どこでも学校は地域の中心で住民の交流や防災などの役割を果たして来ました。小学校の廃校は地域がすたれることにつながるため小さい規模でもなくさずに、先生もふやして安心・安全な小学校を存続して下さいよう要望します。</p>	<p>①小規模校におけるメリット・デメリットについて、令和4年に諮問いたしました「摂津市立小中学校通学区域等審議会」において議論いただき、当該校につきましては課題が多いとのご意見をいただいております。教育委員会といたしましては、審議会の答申や保護者アンケート、学校現場からの意見等を踏まえ、鳥飼小学校と鳥飼東小学校を統合することが適当であると考えております。また、地域コミュニティ・防災・子育て等、これまで果たしてきた学校の役割を踏まえ、関係部署と鳥飼東小学校跡地活用について協議を進めてまいります。</p> <p>②鳥飼東小学校を鳥飼小学校に統合したことにより、通学距離が長距離となる児童に対してはスクールバス等の通学支援に取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>③教員の配置人数は、法律により学校のクラス数に応じて決められますが、教育活動支援員等の支援人材の配置も含め、児童への適切な支援を行ってまいります。</p>	
14	<p>・①鳥飼東小が無くなることで、学校がより遠くなる子どもたちは、登下校の距離や時間が増大する半面、放課後などの自由な時間が減ります。登下校の事故の危険も増大します。このような生活環境の悪化を子どもたちにもたすので、鳥飼東小を鳥飼小に統合することに反対です。</p> <p>・②児童数減少による小規模校化が課題であるので統合するということであるが、小規模校の良さ、メリットにもっと焦点を当てて、鳥飼東小を残してほしい。小規模校は、子どもの数が少ないため、子どもたち同士がつながりを作りやすいです。また教職員や保護者にとっても、子どもたちひとりひとりの顔がよく見え、子どもや集団に合わせたより丁寧な教育活動をしやすいです。学校を無くすのではなく、小規模校であることを生かして、子どもたちが過ごしやすい学校にしていくという観点から、鳥飼東小を残してください。</p> <p>・③学校は、地域のコミュニティを守る役割を果たしています。緊急時の防災拠点でもありますし、日常の交流や活動の場にもなっています。そのような役割を担っている大切な鳥飼東小を無くさないでください。</p>	<p>①鳥飼東小学校を鳥飼小学校に統合したことにより、通学距離が長距離となる児童に対してはスクールバス等の通学支援に取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>②小規模校におけるメリット・デメリットについて、令和4年に諮問いたしました「摂津市立小中学校通学区域等審議会」において議論いただき、当該校につきましては課題が多いとのご意見をいただいております。教育委員会といたしましては、審議会の答申や保護者アンケート、学校現場からの意見等を踏まえ、鳥飼小学校と鳥飼東小学校を統合することが適当であると考えております。</p> <p>③地域コミュニティ・防災・子育て等、これまで果たしてきた学校の役割を踏まえ、関係部署と連携し、鳥飼東小学校跡地活用について市全体で協議を進めてまいります。</p>	

No.	意見の内容	教育委員会の見解	計画の変更等
15	<p>1小1中の地域で中学校で勤務した経験があります。そこでは、1学年20名前後で、クラス替えがないことでクラスが家族のようにお互い分かり合えるような空気感がありました。3年間勤務し、全校生徒は70名前後でしたが、不登校は勤務期間中学校としてゼロでした。複雑な家庭環境の生徒も転校してきましたが、その子も通っていました。またいじめも不思議とありませんでした。喧嘩をして嫌な思いををするという事案は時々ありましたが、それがいじめに発展することはありませんでした。体育大会は学年が1クラスなので対抗することはできませんでしたが、地域の方を巻き込んで子どもの成長を喜ぶ場所として盛り上がっていました。また職朝では、14名の教職員が、それぞれ昨日気付いた生徒のいいところ、もしくは今心配な生徒の交流を10分程度して、教室に向かいます。誕生日をお祝いしたり、クラブ活動での結果を喜び合ったり、できるだけ知ったことで生徒と関わってきました。</p> <p>そこで働いて小規模校ならではの目の行き届いた温かい教育があると感じました。<u>①小規模校のデメリットばかりが取りざたされますが、こういう教育が今大事なのではないでしょうか。ヨーロッパ並みの20人ほどの少人数がいずれ日本にも導入されたらと思います。その時は、廃校にした学校が活用されることは難しいと思います。今ある学校を大事に残し、いずれくる少人数制の学校に備えたいと思います。</u>  <u>②特に摂津市は不登校が多いように感じます。統廃合して、学校が遠くなったり、スクールバスを利用するようになると、不登校はますます多くなると思います。遅れて登校してくる子も多くいますが、スクールバスが朝しか出ないと、遅刻ではなく欠席になるのではとも思います。</u>  統廃合については慎重に、地域の声に耳を傾け、再考してほしいと思います。</p>	<p>①小規模校におけるメリット・デメリットについて、令和4年に諮問いたしました「摂津市立小中学校通学区等審議会」において議論いただき、当該校につきましては課題が多いとのご意見をいただいております。教育委員会といたしましては、審議会の答申や保護者アンケート、学校現場からの意見等を踏まえ、鳥飼小学校と鳥飼東小学校を統合することが適当であると考えております。</p> <p>②不登校支援について一人ひとりの状況やニーズの把握に努め、各学校の取組に加え、教育委員会としてさらにできることを検討してまいります。</p>	
16	<p>【統廃合について】  統廃合にあたっては、次の問題をクリアしていただきたいと思うのです。そうでないと、合意できません。  ・①案では、学校の「適正規模」が言われますが、子どもたちがひしめき合う35人学級の学校が、子どもたちの成長にとって「適正」とは思えません。合併して35人に近づくのでは、全く意味がありません。それならば、9人未満のほうが、いいと思うのです。先生たちの数を2校分そのまま維持し、15人ずつの2学級にするなど、少人数を維持するようにしてください（市の事業としてでも可です）  ・②案を見て、びっくりしました。合併してバタバタする中で、特色ある学校づくりと言って、突飛なことはしないでください。例として出されているものは、どれも学校が窮屈になるものばかりだと思います。特色を出すなら、合併後の不安に寄り添えるよう、少人数学級にするとか、保健の先生を増やすとか、人が増えて安心感が増す「特色」にしてください。</p> <p>【パブリックコメントの実施について】  ③今回の機会に、この街のパブリックコメントをはじめて書きますが、びっくりしました。ほんとうに、市民の意見を聞く気あるのなかなって、思いました。いくつかの公共施設でコメント募集用紙を探しましたが、全く案内が十分でなかったです。  パブコメの資料は、紙ファイルで綴じられたものようでしたが、  ・当の鳥飼地域の施設では、鉢植えの後にひっそりと置かれていました。窓口の人も、「パブコメ？」という感じでした。  ・鳥飼の他の施設では、事務所前に見えるように置いていましたが、窓口の方は、中身のことはご存じありませんでした。  →鳥飼地域の一大事。もっと積極的に意見募集をはかってほしいです。  ・さらに、市内の別の施設にいたっては、「パブコメ募集」という張り紙をしてくれていたのに、大事なファイル自体が見つからずじまいでした。  いずれもこんな感じでは、声が集まらないなって思いました。もっとひろく意見をよせあって摂津市を作っていく。そんな取り組みにしていただかないと。</p>	<p>①小規模校におけるメリット・デメリットについて、令和4年に諮問いたしました「摂津市立小中学校通学区等審議会」において議論いただき、当該校につきましては課題が多いとのご意見をいただいております。教育委員会といたしましては、審議会の答申や保護者アンケート、学校現場からの意見等を踏まえ、鳥飼小学校と鳥飼東小学校を統合することが適当であると考えております。</p> <p>②教育活動支援員等の配置も含め、適切な支援を行うとともに、文部科学省から示されている特例制度も研究し特色のある教育をめざしてまいります。</p> <p>③パブリックコメントについては、これまで他の計画が実施してきた周知方法に加え、とりわけ影響がある鳥飼小学校及び鳥飼東小学校の保護者には児童を通じて周知をしてまいりました。今後とも関係者の皆様への適宜周知に努めてまいりたいと考えております。</p>	

## 結びに

これまでの保護者・教職員アンケート、地域説明会等を含め、数多くのご意見をいただき本当にありがとうございました。いただいたご意見の中で必ず共通しているのが「児童にとって何が良いのか」ということです。子どもたちにとって、より良い学校づくりは、学校や行政だけでは実現できません。保護者の皆様、地域の皆様、すべての関係者の皆様のご協力が不可欠でございます。

教育委員会といたしましては、児童にとってより良い教育環境になることを第一に考え、施策・事業に取り組んでまいりたいと考えておりますので、今後ともより一層のご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。